

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

31

平成22年5月発行

ホームページ
http://www.pref.kanagawa.jp/osirasa/anzenansin/anzenindex.htm

神奈川県あいさつ新運動
地域の安全・安心はあいさつから



① ②

- ・県内振り込め詐欺発生状況について
- ・「オレオレ詐欺」は、実は増えています!!
- ・犯罪被害者の方々への支援について
—犯罪被害者支援事業発足1年を振り返り—
- ・かながわ安全・安心まちづくり「標語」
「ポスター」コンクール作品募集!!
- ・「振り込め詐欺」の撲滅を目指して!!
「埼玉地区防犯協会」(平成21年度犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞)受賞団体 藤沢市*

神奈川県 安全防災局 暮らし安全交通課

電話045(210)1111(内線3520-3552) FAX 045(210)8953

県内振り込め詐欺被害発生状況について



平成22年1月～4月末までの本県における振り込め詐欺発生状況は、認知件数が240件(前年比+35件)、被害金額は約3億8,882万円(同+1億3,019万円)で、一日当たりの平均被害額は、約2.0件、約324万円となっています。

「カードの暗証番号を教えてください…」

は、詐欺!!

最近多いキャッシュカードをだまし取る手口

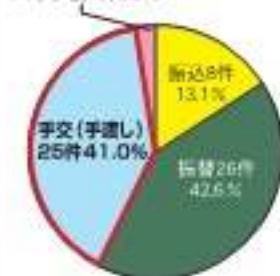
① 警察官や金融機関の関係者を名乗り…

② 「事件で関係箇所の捜索をしたところ、あなた名義のキャッシュカードが発見された…」

③ 「あなたのカードを預かりに行くので事前に暗証番号を教えてください。」

平成22年4月
オレオレ詐欺交付形態

バイク便2件13.3%

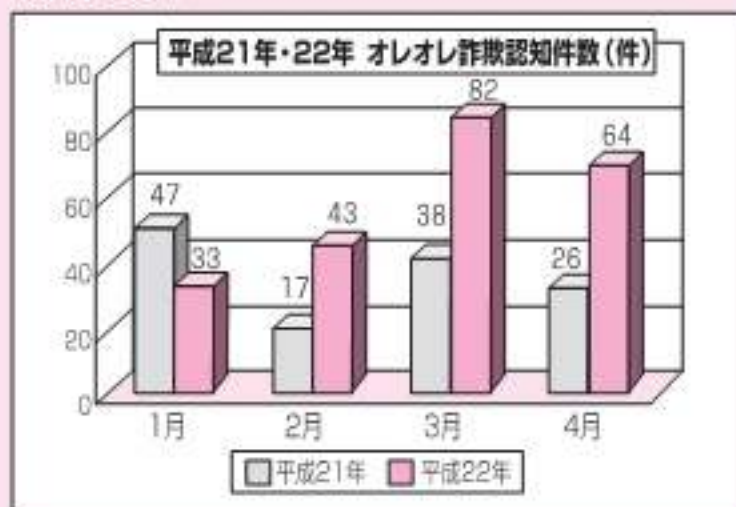


知事からの3つのお願い

- ① 子や孫へのなりすましを見破るため、家族だけの「合い言葉」を決めましょう。
- ② 「電話番号が変わった」と知らせてきたら、以前の番号に、必ず連絡しましょう。
- ③ 電話で「お金」の話が出たら振り込め詐欺だと疑いましょう。

『オレオレ詐欺』は、実は増えています!!

県内振り込め詐欺認知件数のうち、約93%を占める「オレオレ詐欺」は、2月～4月で前年を上回っており(認知件数:222件)、引き続き警戒が必要です。



1月～4月末の県内被害額:
約3億5,469万円
県内被害件数:222件
(一日平均:約1.9件発生)

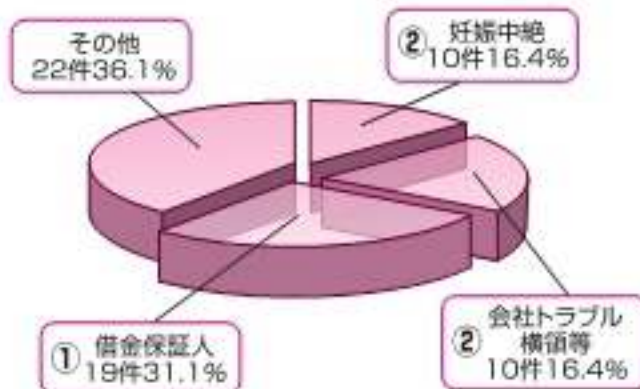


事前に「携帯電話の番号が変わった…」

親族等を装った事件のうち、約8割に、このような事前電話がありました。

「番号が変わった…」は詐欺だと思い、以前の番号に確認をするか、他の親族や友人、警察等、誰かに必ず相談することが被害防止につながります。町内会や自治会等で、誰でも防犯相談を気軽にできるしくみを考えてみてはいかがでしょうか。

平成22年4月のオレオレ詐欺の手口



DVD「学校不審者侵入対応—児童・生徒や教職員の安全を守るために—」を各小学校に配布しました(4月下旬)。



平成13年6月、大阪教育大学附属池田小学校に凶器を持った男が侵入し、8人の児童が殺害され、教員・児童を含む15人が傷害を追った事件から9年が経過しました。

県では、学校等における侵入者対応方法を映像により解説したDVDを作製し、4月下旬より順次県内各小学校に配布しております。職員研修等の場でぜひご活用いただき、教職員等の防犯意識高揚及び保護者や地域と連携した防犯対策にお役立てください。



DVD タイトル画面



犯罪被害者の方々への支援について ～サポートステーション1周年を迎えて～



神奈川県では、「県」「県警察」「NPO法人神奈川被害者支援センター」の三者が常駐し、ワンストップで犯罪被害者の方々を支援する「かながわ犯罪被害者サポートステーション」が本年6月1日に開設1周年を迎えます。

サポートステーション開設後の相談受案件数は、今年4月末までに1077件に達し、平成20年度の年間の相談件数436件を大きく上回っています。

今後、サポートステーションの認知度が高まると、さらに支援件数が増加することも予想されるため、県では昨年10月に「犯罪被害者等支援ボランティア」登録制度を開始し、支援の担い手であるボランティアを広く募集しています。これまで70名以上の方が登録されていますが、まだまだ不足しているのが実情です。ご関心のある方は是非お問い合わせください。

県では、今後とも、支援施策の充実を図るとともに、県民の皆様の理解を深めていただくための研修なども実施してまいりたいと考えております。県民の皆様におかれましても、犯罪被害者の方々を支えるための活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



かながわ犯罪被害者
サポートステーション

相談電話 045(311)4727

月～土 9:00～17:00※日曜日、祝日、年末年始を除く

問い合わせは県くらし安全交通課横浜駐在事務所
045(312)1121内線3431・3432

かながわ安全・安心まちづくり 「標語」「ポスター」コンクール

作品募集!!

県では「犯罪のない安全で安心なまちづくり」を推進するために、防犯に関する「標語」と「ポスター」を今年も募集します！
たくさんのご応募をお待ちしています。（入賞作品は安全・安心まちづくりの普及啓発に活用させていただきます。）

平成21年度 標語コンクール
最優秀作品

おかえりの
声がたくさん
帰り道

●応募期間…平成22年7月1日(木)～9月6日(月)必着
(応募用紙は下記のホームページからもダウンロードできます。)

●応募部門

平成21年度 ポスターコンクール
中学生の部 最優秀作品

標語部門	小学生の部	中学生の部	高校・一般の部
ポスター部門	小学生低学年の部	小学生高学年の部	中学生の部

※二重投稿及びそれに類する投稿はご遠慮ください。

【応募先・お問い合わせ先】

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県安全防災局くらし安全交通課(第二分庁舎5階)

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/zenzensin/anzennindex.htm>

電話 045-210-3517 FAX 045-210-8953





「振り込め詐欺」の撲滅を目指して!!

“**鵜沼地区防犯協会**（「平成21年度犯罪のない安全・安心まち」づくり奨励賞）受賞団体 藤沢市”

今回は、協会会長の藤井栄子氏、原町内会 森井時夫会長及び協会役員等の皆さんにお話を伺いました。

Q1 当協会が、振り込め詐欺の撲滅を目指された理由をまず教えてください。

藤沢警察署が、当協会を通じて、原町内会地区を「振り込め詐欺撲滅モデル地区」として指定したことがきっかけです。当地区は、交番があり、駅に近く、被害が発生したATMも設置されていたからです。その後平成21年4月から6ヶ月間取組みを行うことになりました。



鵜沼地区防犯協会・原町内会の皆さん

Q2 どういう取組みをされたのですか。

協会、町内会、警察が協力して町内会の全世帯に対して「振り込め詐欺被害防止チラシ」のポスティング活動、高齢者宅を中心とした個別訪問による広報啓発活動、高齢者を対象とした防犯教室の開催や青色回転灯装備車両と警察のパトカーとの巡回合同パトロールを行うなどの活動を行いました。



Q3 その効果はいかがでしたか。

原町内会では、モデル地区の指定後現在に至るまで、振り込め詐欺の被害件数が0件となり、地区内の振り込め詐欺撲滅に成功しました。

Q4 その他、団体としての取組みを教えてください。

門灯点灯の呼びかけ、海岸地区の夜間パトロール等の防犯パトロール活動に加え、平成20年12月には「鵜沼地区安全安心ステーション（→民間交番）」を設置して、自主防犯活動の充実を図っています。

Q5 団体が現在抱えている問題を教えてください。

防犯パトロール隊の結成から5年が経ち、隊員の高齢化が進んでいます。今後は、定年退職をした人を中心として、粘り強く活動への参加を呼びかけていくことが必要であると感じています。また、民生委員等が高齢者宅を個別訪問するときに、活動への勧誘をすることも有効であると思います。

振り込まないで!

振り込め詐欺多発
手口は巧妙化している

- オレオレ詐欺
- ネットショッピングを装う
- 遠征金詐欺
- 現金を盗取りに来る
- 定期貯金詐欺

事実を確認!
警察に連絡する

原町内会 防犯部

『振り込め詐欺被害防止チラシ』



『鵜沼地区安全安心ステーション』

今回の取材で、鵜沼地区の皆さんの防犯に対する強い思いとともに、藤沢警察署生活安全課を中心とした警察機関、そして、藤沢市鵜沼市民センター地域経営担当を中心とした行政機関の当団体への積極的できめ細かなサポートがあることが分かりました。警察や行政機関と上手に連携して効果を上げている自主防犯団体であると感じました。